

令和4年度 全国学力・学習状況調査
春日部市の調査結果概要（目的・概要等）

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の概要

実施日 令和4年4月19日（火）

調査対象 1 原則として全児童生徒を対象とする。

【小学校調査】 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年

【中学校調査】 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第9学年

2 小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

- (1) 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
- (2) 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

調査事項 1 児童生徒に対する調査

- (1) 教科に関する調査
 - ①小学校〈国語、算数、理科〉
 - ②中学校〈国語、数学、理科〉

(2) 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査

2 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

3 春日部市の学力調査結果の概要（教科区分ごとの平均正答率）（単位％）

	学年		国語	算数・数学	理科
R 4	小6	市	67	63	65
		県	67	64	65
		国	65.6	63.2	63.3
	中3	市	68	48	48
		県	70	52	49
		国	69.0	51.4	49.3
R 3	小6	市	64	68	
		県	65	69	
		国	64.7	70.2	
	中3	市	62	54	
		県	65	57	
		国	64.6	57.2	

4 教科に関する調査結果

・結果の概要（小学校）

小学校 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		67
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	67.9
	書くこと	48.8
	読むこと	66.5
	言葉の使い方に関する事項	70.2
	言語文化に関する事項	86.6

！平均正答率が最も低かった問題は、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところをみつける問題です。示された条件に合わせて文章を書くことが大切です。

「言葉の使い方に関する事項」「言語文化に関する事項」については、概ね高い正答率でした。しかし、言葉には相手とのつながりを作る働きがあることを捉える力に課題が見られます。今後も、語句の量を増やし、話や文章の中で使うようにして、語彙を豊かにしていきましょう。

小学校 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		63
学習指導要領の領域等	数と計算	69.6
	図形	64.4
	変化と関係	50.7
	データの活用	68.5

！平均正答率が最も低かった問題は、果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ問題です。数量が変わっても割合は変わらないことを理解することが大切です。

「数と計算」については、正答率が高く、整数のかけ算、整数のわり算、最小公倍数を求める力を身に付けています。示された場面において、およその数を使用する方法を身に付け、学んだことを日常生活で活かしていきましょう。

小学校 理科		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		65
学習指導要領の領域 等	「エネルギー」を柱とする領域	54.0
	「粒子」を柱とする領域	62.7
	「生命」を柱とする領域	76.9
	「地球」を柱とする領域	65.2

！平均正答率が最も低かった問題は、光の性質をもとに鏡を操作して指定した的に日光を当てる方法について正しいものを選ぶ問題です。

光は、直進して進むことを理解することが大切です。

「生命」を柱とする領域については、正答率が高く、植物の観察や生き物の体のつくりなどを理解しています。日常生活において、示された情報を様々な視点で分析して観察し、自分の考えを持つことが大切です。

・結果の概要（中学校）

中学校 国語		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		68
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	62.5
	書くこと	48.6
	読むこと	66.0
	言葉の使い方に関する事項	69.6
	情報の扱い方に関する事項	48.6
	言語文化に関する事項	70.6

！平均正答率が最も低かった問題は、根拠を明確にして自分の考えを書く問題です。資料から必要な情報を引用し、自分の考えが伝わるように文章を書くことが大切です。

「読むこと」については、概ね高い正答率でした。しかし、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて文章から考えることには課題が見られました。文章を読む際には、描写をもとに人物の気持ちの変化を考えるようにしましょう。

中学校 算数		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		48
学習指導要領の領域等	数と計算	52.8
	図形	41.0
	関数	40.3
	データの活用	55.6

！平均正答率が最も低かった問題は、変化の割合から1次関数の関係を表した表を選ぶ問題です。1次関数の変化の割合を理解することが大切です。

「データの活用」の中の「確率」を求める問題については、高い正答率でした。多くの試行によって得られる確率の意味を理解することやデータの傾向を的確に捉え、判断する理由を数学的に表すことはとても大切な力です。今後、この力を生かし、物事を数学的に解釈して説明する力へと発展させていきましょう。

中学校 理科		平均正答率 (%)
		春日部市
全体		48
学習指導要領の領域等	「エネルギー」を柱とする領域	38.5
	「粒子」を柱とする領域	50.8
	「生命」を柱とする領域	56.4
	「地球」を柱とする領域	43.5

！平均正答率が最も低かった問題は、おもりに働く重力とつり合う力について説明する問題です。
力の働きに関する知識を活用して物体にかかる重力とつり合う力を考えることが大切です。

「生命」を柱とする領域については、正答率が高く、生き物の体のつくりや移動の仕方、生活場所を理解しています。予想や仮説をもとに観察・実験計画を立て、結果を分析して自分の考えを発展させていきましょう。